

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	神戸・甲陽音楽&ダンス専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	音楽クリエイター科 (昼間I部)	夜・通信	240時間	240時間	
	プロミュージシャン科 (昼間I部)	夜・通信	180時間	160時間	
	プロミュージシャン科 (昼間II部)	夜・通信	180時間	160時間	
	商業音楽科 (昼間I部)	夜・通信	180時間	160時間	
	ダンス&アクターズ科 (昼間I部)	夜・通信	180時間	160時間	
	ダンス&アクターズ科 (昼間II部)	夜・通信	180時間	160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表。

https://www.music.ac.jp/public_info/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-① 学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・**学校法人**・**準学校法人**は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神戸・甲陽音楽&ダンス専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表。 https://www.music.ac.jp/public_info/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	団体役員 (H28. 4. 1~)	R3. 6. 1 ~ R6. 5. 31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	会社役員 (H24. 4. 17~)	R3. 6. 1 ~ R6. 5. 31	経営分析
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸・甲陽音楽&ダンス専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 全学科、業界の方、実務経験のある教員のご意見も参考に、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。 学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明した上、本校ホームページにて公表。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公表。 https://www.music.ac.jp/public_info/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 全学科、定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により学修成果の評価を行っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 100～90 点 : S(4.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 89～80 点 : A(3.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 79～70 点 : B(2.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 69～60 点 : C(1.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 59～0 点 : D(0.0) 不合格</p> <p>上記の指標を学生便覧にて学生に公表。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページにて公表。 https://www.music.ac.jp/public_info/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>ホームページにて公表。 https://www.music.ac.jp/public_info/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	神戸・甲陽音楽&ダンス専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 https://www.music.ac.jp/public_info/
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公表 https://www.music.ac.jp/public_info/
財産目録	ホームページにて公表 https://www.music.ac.jp/public_info/
事業報告書	ホームページにて公表 https://www.music.ac.jp/public_info/
監事による監査報告（書）	ホームページにて公表 https://www.music.ac.jp/public_info/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	音楽クリエイター科 (昼間I部)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2700 単位時間/単位	330 時間	2370 時間	0 時間	0 時間	0 時間
			2700 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		48人	0人	1人	24人	25人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） (概要) 全学科、業界の方、実務経験のある教員のご意見も参考に、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。 学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明した上、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法 (概要) 全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準 (概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等 (概要) 本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	1人 (11%)	8人 (89%)
(主な就職、業界等) 音楽エンターテインメント業界 (レコーディングスタジオ、音楽プロダクションなど)			
(就職指導内容) 進路面談、面接指導、就職対策授業、履歴書・プロフィールシートの作成、 校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーションスキルアップ検定、 アソシエイトホスピタリティコーディネーター検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	4人	12.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、心身の不調		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生一人ひとりをサポートする体制づくりを構築。 ※担任制、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	プロミュージシャン科 (昼間I部)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	330 時間	1470 時間	0 時間	0 時間	0 時間
	夜		1800 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		65人	1人	2人	37人	39人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、業界の方、実務経験のある教員のご意見も参考に、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。 学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明した上、本校ホームページにて公表。

成績評価の基準・方法 (概要) 全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 100～90 点：S(4.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 89～80 点：A(3.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 79～70 点：B(2.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 69～60 点：C(1.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 59～0 点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準 (概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等 (概要) 本校では学生サービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36 人 (100%)	5 人 (14%)	2 人 (5.5%)	29 人 (80.5%)
(主な就職、業界等) 音楽業界におけるミュージシャン活動、楽器店、音響会社等			
(就職指導内容) 進路面談、面接指導、就職対策授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			
(主な学修成果（資格・検定等）) コミュニケーションスキルアップ検定 アソシエイトホスピタリティコーディネーター検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69 人	4 人	5.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、心身の不調、意欲の低下、経済的事情		

(中退防止・中退者支援のための取組)

学生一人ひとりをサポートする体制づくりを構築。

※担任制、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談等

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	プロミュージシャン科 (昼間Ⅱ部)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	330 時間	1470 時間	0 時間	0 時間	0 時間
			1800 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		40人	4人	2人	37人	39人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、業界の方、実務経験のある教員のご意見も参考に、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。 学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明した上、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要) 全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
(概要) 本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 音楽業界におけるミュージシャン活動、楽器店、音響会社等			

(就職指導内容) 進路面談、面接指導、就職対策授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーションスキルアップ検定 アソシエイトホスピタリティコーディネーター検定
(備考) (任意記載事項) 2021年度より学生が在籍しているため、完成年度未達

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	6人	26%
(中途退学の主な理由) 進路変更、心身の不調、意欲の低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生一人ひとりをサポートする体制づくりを構築。 ※担任制、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	商業音楽科 (昼間I部)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	330 時間	1470 時間	0 時間	0 時間	0 時間
			1800 単位時間/単位			1800 単位時間/単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		77人	2人	2人	14人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、業界の方、実務経験のある教員のご意見も参考に、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。 学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明した上、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要) 全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
(概要) 本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	18人 (56%)	14人 (44%)
(主な就職、業界等) 音楽エンターテインメント業界 (音響会社、照明会社、企画マネジメント会社、ライブハウス等)			

(就職指導内容) 進路面談、面接指導、就職対策授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など
(主な学修成果(資格・検定等)) PA検定、足場検定、フルハーネス検定、コミュニケーションスキルアップ検定 アソシエイトホスピタリティコーディネーター検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82人	4人	4.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生一人ひとりをサポートする体制づくりを構築。 ※担任制、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	ダンス&アクターズ科 (昼間I部)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	330 時間	1470 時間	0 時間	0 時間	0 時間
			1800 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		52人	0人	2人	23人	25人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、業界の方、実務経験のある教員のご意見も参考に、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。 学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明した上、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要) 全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
(概要) 本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	36人 (100%)
(主な就職、業界等) ダンサー事務所、芸能事務所、ダンススクール、テーマパーク、プロ野球球団			

(就職指導内容) 進路面談、面接指導、就職対策授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーションスキルアップ検定 アソシエイトホスピタリティコーディネーター検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	5人	7.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生一人ひとりをサポートする体制づくりを構築。 ※担任制、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談等		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		専門課程	ダンス&アクターズ科 (昼間Ⅱ部)		○	-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	330 時間	1470 時間	0 時間	0 時間	0 時間
			1800 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		0人	0人	0人	0人	0人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
<p>(概要)</p> <p>全学科、業界の方、実務経験のある教員のご意見も参考に、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。 学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明した上、本校ホームページにて公表。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>(概要)</p> <p>全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格</p> <p>上記の指標を学生便覧にて学生に公表。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>(概要)</p> <p>全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。</p>	
学修支援等	
<p>(概要)</p> <p>本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ダンサー事務所、芸能事務所、ダンススクール等			

(就職指導内容) 進路面談、面接指導、就職対策授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーションスキルアップ検定 アソシエイトホスピタリティコーディネーター検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生一人ひとりをサポートする体制づくりを構築。 ※担任制、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)	
音楽クリエーター科 1年次	100,000円	840,000円	695,800円	施設維持費、総合演習費、キャリア教育振興費の費用をその他に計上	
音楽クリエーター科 2年次、3年次		990,000円	695,800円		
プロミュージシャン科 1年次	100,000円	840,000円	695,800円		
プロミュージシャン科 2年次		990,000円	695,800円		
商業音楽科 1年次	100,000円	840,000円	695,800円		
商業音楽科 2年次		990,000円	695,800円		
ダンス&アクターズ科 1年次	100,000円	840,000円	720,800円		
ダンス&アクターズ科 2年次		990,000円	720,800円		
修学支援 (任意記載事項)					
納入スケジュールでの学費納入が難しい方に対し、延納、分納措置を行っている。					

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.music.ac.jp/public_info/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 保護者代表、近隣関係者、高等学校関係者とともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が行った自己点検、自己評価の内容を通し、学校運営の改善に活かすことを方針としている。 評価項目としては下記とする。 ・教育理念、目的、育成人材像について・学校運営について・教育活動について ・教育成果について・学生支援について・教育環境について ・学生募集と受け入れについて・財務について・法令等の遵守について ・社会貢献について		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学生保護者	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	保護者代表
育英高等学校	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	高等学校関係者
公益財団法人 神戸市民文化振興財団 神戸アートビレッジセンター	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	地域関係者
一般社団法人 日本音楽スタジオ協会	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
株式会社ハートス	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
株式会社スマッシュルーム	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.music.ac.jp/public_info/		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.music.ac.jp/ またはメインパンフレット及び学生募集要項の郵送

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	神戸・甲陽音楽&ダンス専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

	前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）	58人	60人	61人
内 訳	第Ⅰ区分	36人	
	第Ⅱ区分	15人	
	第Ⅲ区分	-人	
家計急変による支援対象者（年間）			2人
合計（年間）			63人
(備考)			

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準時間数の5割以下)	1人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	1人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	1人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給

付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	一人	一人	一人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	一人	一人	一人
計	一人	一人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4とする。